

## カセットコーダー

### 取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。  
この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### TCM-410/400

Sony Corporation © 2001 Printed in China

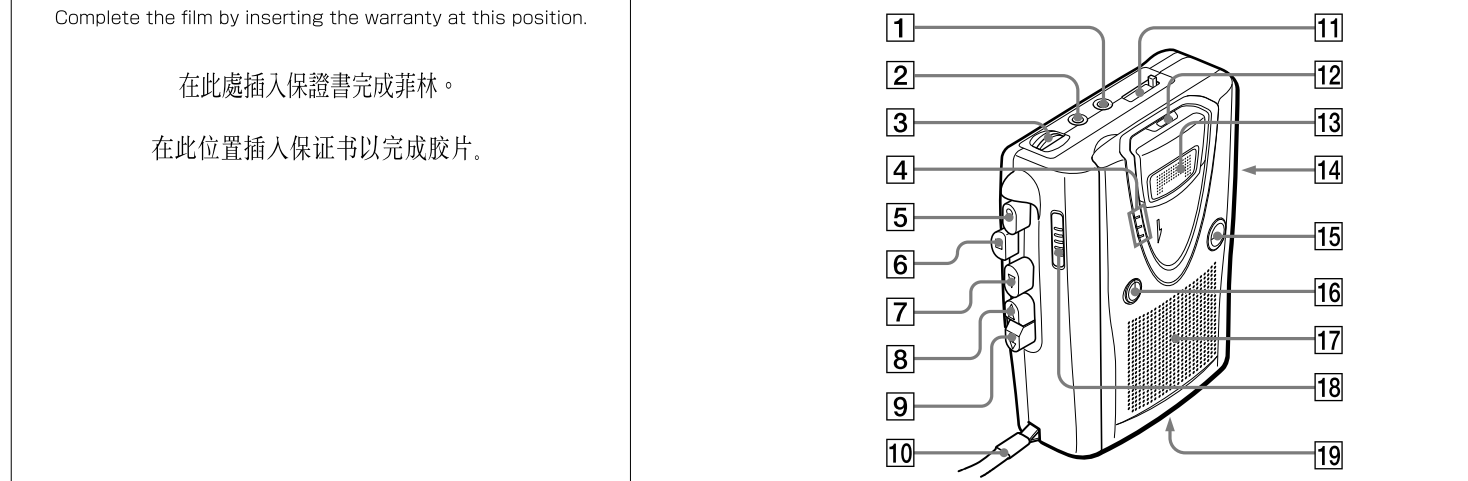
## 主な特長

- テープ速度を半分にしてテープを 2 倍の時間使える、**録音時間 2 倍モード**・搭載。
- 電池の残量を確認する**電池ランプ**と**電池交換お知らせランプ**。
- テープの再生スピードを約 + 30 〜 約 - 15% の範囲で速めたり遅めたりできる、**再生スピード調節機能**（スピードコントロール）。
- 停止ボタンを押すと一時停止も解除される、**ストップポーズリリース機能**。解除を忘れて録音チャンスを逃してしまう失敗がありません。
- 発言者の声を明瞭にとらえる **Boundary effect** 収音方式の、**フラットマイク内蔵**。
- 一定の強さ以上の音声を検知して自動的に録音が始まり、それ以下の音声になるとテープが止まる **VOR（自動音声録音スタート）機能**。

\* 本機の 2 倍モード（2.4 cm/s）で録音したテープは、2 倍モードのないテープレコーダーでは正しく再生できません。

この取扱説明書は TCM-400 と TCM-410 共用です。TCM-410 は TCM-400 本体に AC パワーアダプターと充電アダプター、充電式電池、充電電池ケースが付属されたセットです。

## 各部のなまえ



- |                                     |                  |
|-------------------------------------|------------------|
| 1 イヤホンジャック                          | 9 ►► 早送り／キューボタン  |
| 2 マイク（プラグインパワー）ジャック*                | 10 ハンドストラップ      |
| 3 音量つまみ                             | 11 テープカウンター      |
| 音量「大」の方向に凸点がついています。操作の目印としてお使いください。 | 12 VOR スイッチ      |
| 4 録音、電池、（電池交換お知らせ）ランプ               | 13 フラットマイク       |
| 5 ●録音ボタン                            | 14 電池入れ          |
| 6 ■停止ボタン                            | 15 スピードコントロールつまみ |
| 7 ►再生ボタン*                           | 16 標準／2 倍モードスイッチ |
| 8 ◀◀ 巻戻し／レビューボタン                    | 17 スピーカー         |
|                                     | 18 一時停止  スイッチ    |
|                                     | 19 DC IN 3V ジャック |

\* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

## 準備する

ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントや充電式電池での使いかたは、「電源について」（裏面）をご覧ください。

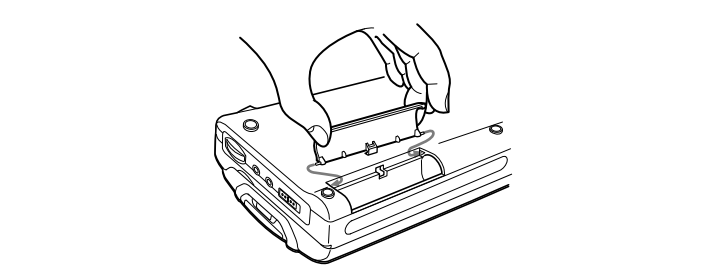
### 1 乾電池を入れる

- ① 押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる
- 
- ② 単 3 形乾電池 2 本を入れる
- 
- 2 本とも ⊕ 側を奥に  
入れる
- 乾電池は別売りのソニールカリ乾電池をお使いください。
- ご注意**  
新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

TCM-410 をお使いの場合は  
充電した充電式電池を入れます。充電のしかたは「充電式電池を充電する」（裏面）をご覧ください。

乾電池を取り出すときは

電池入れのふたがはずれたときは  
電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のように取り付けてください。



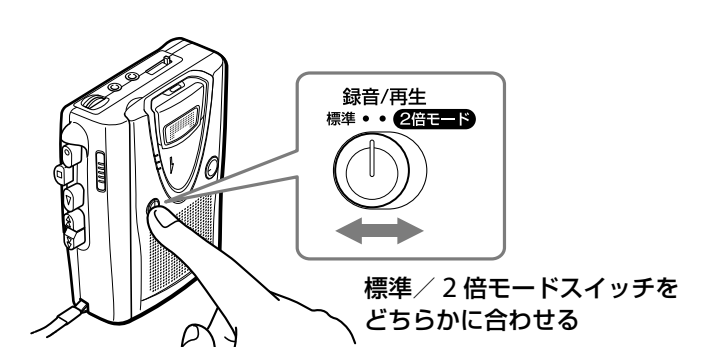
## 録音する

内蔵マイクですぐに録音できます。録音にはノーマルテープ（TYPE I）をお使いください。ハイポジションテープ（TYPE II）、メタルテープ（TYPE IV）では正しく録音できない場合があります。

### 1 カセットを入れる

- ① 手でふたを開ける
- 
- ② テープのたるみをとってから、録音を始める面をふた側にしてカセットを入れる
- 
- ③ ふたを閉める
- 

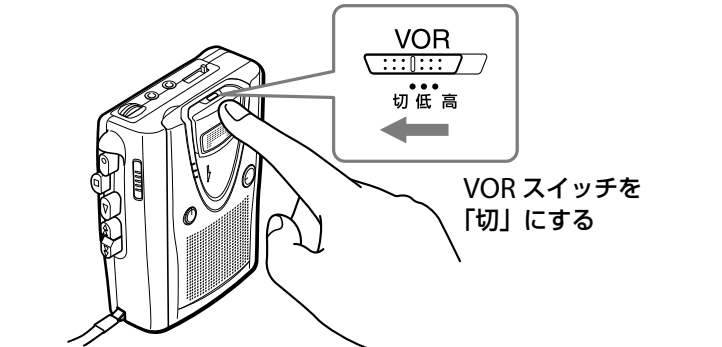
### 2 録音時間を選ぶ



標 準：通常の録音をするとき。  
（4.8cm/s） 「2 倍モード」 のときより良い音で録音できます。  
2 倍モード： テープ速度を半分にして 2 倍の時間録音をするとき。  
（2.4cm/s） 会議、口述、メモ録音などに適しています。音楽の録音にはおすすめできません。  
（60 分テープを使うと、両面で 120 分間の録音ができます。）

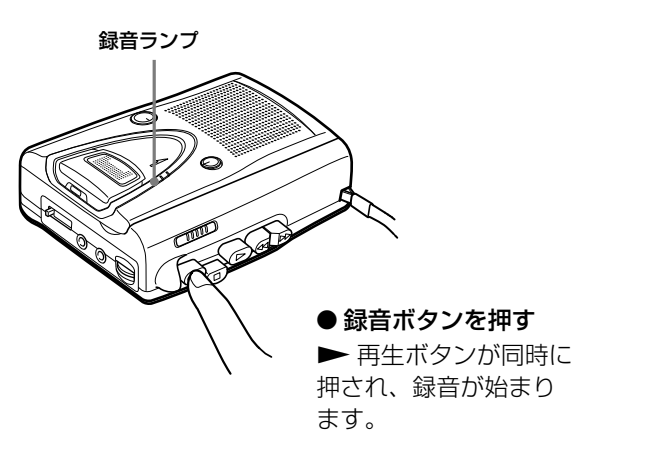
### 3 VOR（自動音声録音スタート）機能を解除する

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VOR スイッチは「切」にしておいてください。VOR 機能を使った録音については、「音がしたとき自動的に録音を始める（VOR 機能）」（裏面）をご覧ください。



### 4 録音する

発言者の声をフラットマイクで明瞭に録音するために、机の上などの固い面に水平に置いてください（Boundary effect 方式）。



録音中は、音の強弱に合わせて録音ランプの明るさが変わります。テープの終わりまで来ると、自動的に止まります。

| 操作        | 押すボタン、ずらすスイッチ                  |
|-----------|--------------------------------|
| 録音を止める    | ■ 停止                           |
| 一時停止する    | 一時停止  一時停止を解除するには、一時停止  を元に戻す* |
| カセットを取り出す | ■ 停止を押してから、手でふたを開ける            |

\* 一時停止は ■ 停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます（ストップポーズリリース機能）。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

## テープを聞く

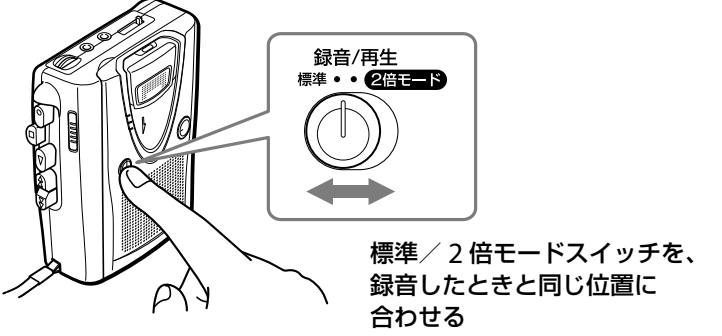
内蔵スピーカーから音が聞こえます。ノーマルテープ（TYPE I）をお使いください。

### 1 カセットを入れる

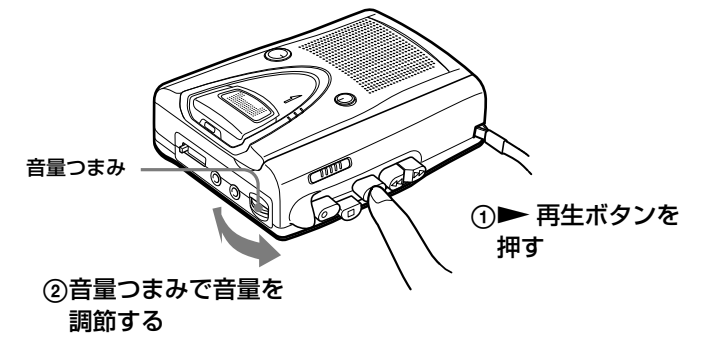
- ① 手でふたを開ける
- 
- ② テープのたるみをとってから、再生を始める面をふた側にしてカセットを入れる
- 
- ③ ふたを閉める
- 

### 2 「標準」または「2 倍モード」を選ぶ

市販の録音済みテープを再生するときは「標準」を選んでください。



### 3 再生する



テープ速度がおかしいときは、標準／2 倍モードスイッチの位置を確認してください。テープの終わりまで来ると、自動的に止まります。

| 操作                | 押すボタン、ずらすスイッチ                  |
|-------------------|--------------------------------|
| テープを止める           | ■ 停止                           |
| 一時停止する            | 一時停止  一時停止を解除するには、一時停止  を元に戻す* |
| 早送りする**           | ►► 早送り／キュー                     |
| 巻き戻す**            | ◀◀ 巻戻し／レビュー                    |
| 音を聞きながら早送りする（キュー） | 再生中に ►► 早送り／キューを押し続ける          |
| 音を聞きながら巻き戻す（レビュー） | 再生中に ◀◀ 巻戻し／レビューを押し続ける         |
| カセットを取り出す         | ■ 停止を押してから、手でふたを開ける            |

\* 一時停止は ■ 停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます（ストップポーズリリース機能）。

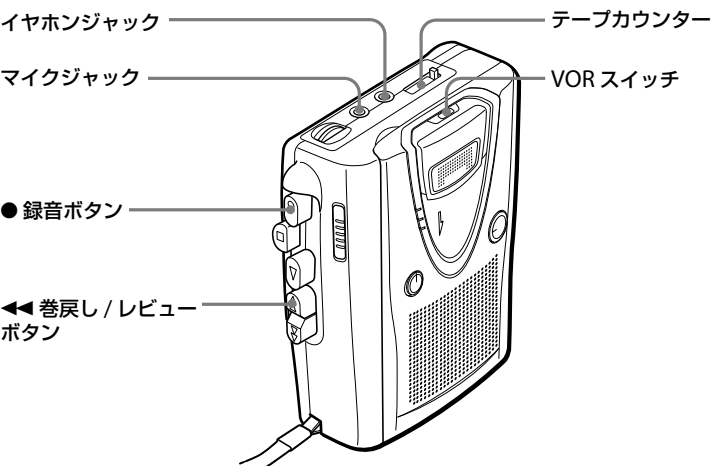
\*\* 早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあと、そのままにしておくと電池が急激に消耗するので、必ず ■ 停止ボタンを押してください。

別売りのイヤーレシーバーをイヤホンジャックに差すと、両耳から聞こえます（ただし、音声はモノラルです）。

レビュー操作時のご注意  
レビューをしてテープの端まで巻き取られたとき、ボタンから指を離しても再生にならないことがあります。そのときは、いったん ■ 停止ボタンを押して、再生を始めてください。

## ▶ 録音するー応用

## 録音の便利な機能を使う



## テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にしておくと、録音の頭出しに便利です。

## 音がしたとき自動的に録音を始める（VOR 機能）

VOR スイッチを「高」または「低」に切り換えます。

| 録音の状態                        | スイッチの位置 |
|------------------------------|---------|
| 小さい音でも録音が始まる（会議などを録音するとき）    | 高       |
| 比較的大きな音のときだけ録音が始まる（口述録音するとき） | 低       |

● 録音ボタンを押すと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間がはぶけるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。

録音中に VOR スイッチを切り換えることもできます。

### ご注意

- VOR 機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせて VOR スイッチを「高」または「低」にしてください。VOR スイッチを操作しても思い通りに録音できないときは、VOR スイッチを「切」にしてください。
- 音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときは、VOR スイッチを「切」にしてください。

## 録音中の音を聞くには

別売りのイヤーレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。聞こえる音量は一定で、音量つまみで調節することはできません。

## 後追い録音をする

再生中に● 録音ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音されたものの一部分を修正したいときなどに便利です。

## 録音したものをすぐに聞く（ワンタッチレビュー）

録音中に◀◀ 巻戻し/レビューボタンを押すと、押している間はテープが巻き戻され、離すとそこから再生が始まります。

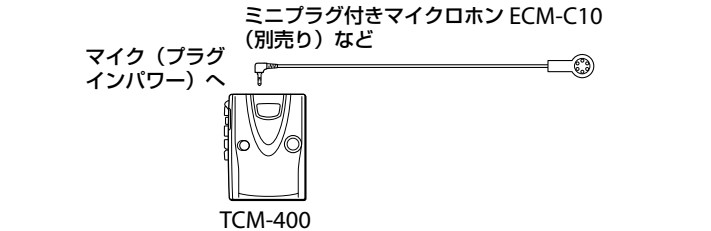
## 外部マイクや他の機器から録音する

状況に合わせて VOR 機能もお使いいただけます。

- ご注意** 録音する前に
- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
  - 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
  - 下記の接続例ではソニー製品を使用しています。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

## 外部マイク（別売り）で録音する

マイクジャックにプラグをしっかりと差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。



本機にカセットを入れ、● 録音ボタンを押します。

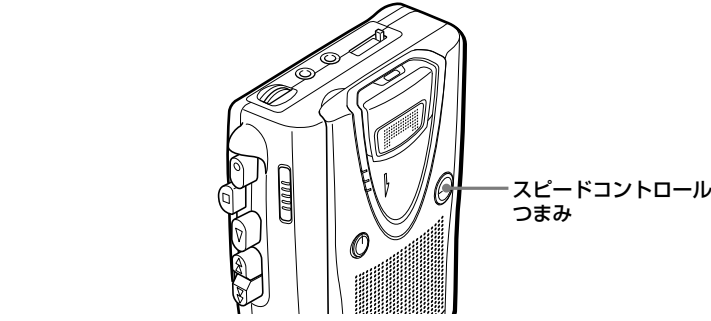
## 他の機器から録音する



- 本機にカセットを入れます。
- 録音する音を他の機器から出し、聞きやすい音量にします。（テレビやラジオの REC OUT や ◻ ジャックなどから録音するときは、他の機器で音量を変えても録音には影響しません。）
- 本機の● 録音ボタンを押します。

### ▶ テープを聞くー応用

## 再生スピードを調節する



スピードコントロールつまみを次のように調節してください。

| 再生速度       | つまみの位置 |
|------------|--------|
| ゆっくり再生する   | 遅い     |
| 通常の速度で再生する | 中央     |
| 速く再生する     | 速い     |

### ▶ 電源

## 電源について

### 電池を交換する時期

電池が消耗すると、◻（電池交換お知らせ）ランプが点滅します。電池ランプが暗くなり、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりしますので、乾電池は 2 本とも新しいものと交換してください。また、充電式電池（TCM-410 に付属）は充電してください。乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池をお使いください。

|    |             |               |
|----|-------------|---------------|
| 録音 | 電池ランプが点灯    | 残量は充分です。      |
| 電池 |             |               |
| 録音 | ◻（電池交換お知らせ） | 乾電池を交換してください。 |
| 電池 | ランプが点滅      |               |

### ご注意

- 早送り（キュー）／巻き戻し（レビュー）中に◻ ランプが点滅することがあります。テープが正常に動かないときのみ、電池を交換してください。
- 再生中に音量を上げたときなどに音量に応じて電池ランプがちらつくことがありますが、電池を交換する必要はありません。
- ◻ ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが正常に動きますが、スピーカーから大きな雑音が出たり正しく録音されていないことがありますので、必ず電池を交換してください。
- テープの動きはじめやテープの終わりで◻ ランプが瞬間的に点滅することがあります。ランプがすぐに消えた場合は、電池を交換する必要はありません。

| 電池の持続時間*                               |         |          |
|--|---------|----------|
| 使用電池                                   | 録音時     | 再生時      |
| ソニーアルカリ乾電池 LR6（SG）** 使用時               | 約 24 時間 | 約 16 時間  |
| ソニーマンガン乾電池 R6P（SR）使用時                  | 約 6 時間  | 約 3.5 時間 |
| ソニーニッケル水素充電電池 NH-7WMAA 使用時（TCM-410 のみ） | 約 6 時間  | 約 3.5 時間 |

\* 電子情報技術産業協会（JEITA）規格による測定値です。（ソニー HF シリーズカセットテープ使用、音量 7 分目程度でミュージックテープをスピーカーで再生した場合。）

\*\* 日本製ニースタミナルカリ電池 LR6（SG）で測定しています。

### ご注意

電池の持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

## コンセントにつないで使う

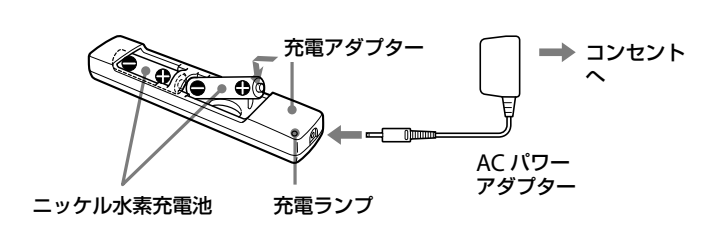
- 付属の AC パワーアダプター（TCM-410 のみ）または別売りの AC-E30L を本体の DC IN 3V ジャックにつなぎます。
- AC パワーアダプターをコンセントにつなぎます。

- ご注意**
- この製品には、指定の AC パワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA 規格）をご使用ください。上記以外の AC パワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
  - AC パワーアダプターは、容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

## 充電式電池を充電する（TCM-410 のみ）

付属の充電アダプターと AC パワーアダプターを使って充電式電池を充電できます。

- 充電アダプターに充電式電池を入れます。
- 充電アダプターに AC パワーアダプターをつなぎます。
- AC パワーアダプターをコンセントにつなぎます。



付属の充電式電池は、約 8 時間で充電できます。

### ご注意

- 充電が完了してもランプは消えません。
- 充電式電池は 2 本同時に充電してください。1 本だけ充電することはできません。

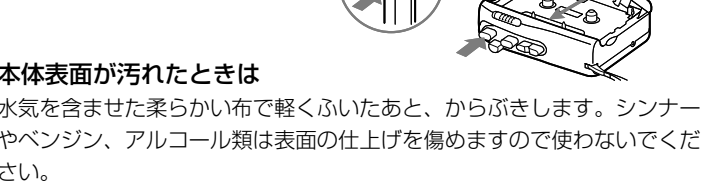
### ▶ その他

## お手入れ

よい音でテープを聞くために

10 時間程度使ったら、市販の綿棒とクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをクリーニングします。まずレバーを押しながら、

- 録音ボタンを押し込みます。ヘッドやピンチローラーが出てきますので、綿棒などできれいにふいてください。



本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきます。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

## 使用上のご注意

### 充電について（TCM-410 のみ）

- 付属の充電アダプターでは、指定の電池以外は充電しないでください。
- 充電中は AC パワーアダプターや充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池では持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- 付属の充電式電池は約 500 回充電できます。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換えてください。
- 充電が終わったら、早めに充電式電池を充電アダプターから取り出し、AC アダプターをコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。

### 日本国内での充電式電池の廃棄について

ニッケル水素充電電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会ホームページ <http://www.bajor.jp/> を参照してください。

## Ni-MH

### 海外での充電式電池の廃棄について

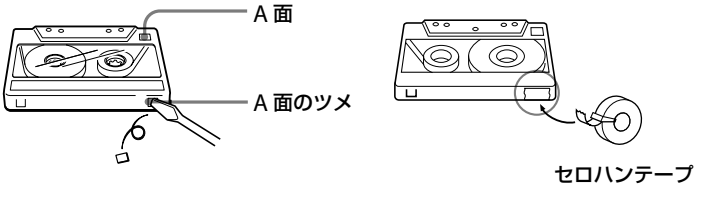
各国の法規制にしたがって廃棄してください。

### 録音について

- 録音には、必ずノーマルテープ（TYPE I）をお使いください。（ハイポジション／メタルテープでは正しく録音できないことがあります。）
- マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると、内蔵マイクを使っても録音はできません。
- 内蔵マイクを強く押さないでください。マイクが変形し、雑音の原因となります。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中はスピーカーから音は出ません。別売りのイヤーレシーバーで聞いてください。
- 録音中の音をイヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーの音をマイクが拾い、ピーという音が生じることがあります（ハウリング現象）。この場合はイヤーレシーバーをはずしてください。

### 大切な録音を守るには

カセットのツメを折ると録音状態にできなくなるので録音した音声を誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。



### 取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 一温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  - 一直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 一窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  - 一風呂場など湿気の多いところ。
  - 一磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  - 一ほこりの多いところ。
- 長時間テープについて90 分をこえるテープはなるべくお使いにならないでください。テープが非常に薄いため、動作が不安定になって音がゆれたり、まれに機械に巻き込まれる場合があります。また、音が小さかったり、高音のびが悪くなることがあります。
- エンドレスカセットテープについて
  - エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。
- 長い間本機を使わなかったときは、再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回しをしてください。良い状態でお使いいただけます。

キャッシュカードや定期券などで、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気に変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

## 故障かな？

修理に出す前にもう一度お調べください。ご不明な点があるときはソニーの相談窓口へお問い合わせください。

| 症状                                      | 原因／処理   |
|---|---|
| カセットが入らない。カセットが閉まらない。操作ボタンを押しても動作しない。   | <ul style="list-style-type: none"><li>● カセットの向きが正しくない。</li></ul>  |
| 録音できない。                                 | <ul style="list-style-type: none"><li>● 電池の ⊕ と ⊖ の向きが正しくない。→ 向きを確認して入れなおす。</li> <li>● 電池が消耗している。→2 本とも新しいものと交換し、充電式電池は充電する。</li> <li>● 一時停止 ─→ スイッチが矢印の方向へずらされている。</li> <li>● AC パワーアダプターが正しく接続されていない。</li> <li>● 電源に差し込んでいない AC パワーアダプターやカーバッテリーコードを本体につないでいる。</li></ul>                                    |
| 録音が途中で止まる。                              | <ul style="list-style-type: none"><li>● カセットが入っていない。</li> <li>● カセットのツメが折れている。→ 録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。</li></ul>  |
| 前の音が完全には消えない。                           | <ul style="list-style-type: none"><li>● VOR が働いている。→VOR を使用しないときはスイッチを「切」にする。</li></ul>   |
| 再生できない。スピーカーから音が出ない。                    | <ul style="list-style-type: none"><li>● 消去ヘッドが汚れている。→ クリーニングする。</li> <li>● ハイポジションまたはメタルテープを使っている。</li> <li>● テープが終わりまで巻き取られている。</li> <li>● イヤーレシーバーが差し込まれている。</li> <li>● 音量が最小になっている。</li> <li>● 音量が絞られている。</li> <li>● 電池が消耗している。→2 本とも新しいものと交換し、充電式電池は充電する。</li> <li>● 録音／再生ヘッドが汚れている。→ クリーニングする。</li></ul> |
| 音が小さい。音質が良くない。雑音が入る。                    | <ul style="list-style-type: none"><li>● カセットテープをスピーカーの上に直接置いたため、テープが磁化されて音質が劣化した。</li> <li>● ハイポジションまたはメタルテープを使っている。</li> <li>● 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。→ 携帯電話などから離して使用する。</li></ul>  |
| 音が不安定で急に音程が狂う。                          | <ul style="list-style-type: none"><li>● 電池が消耗している。→2 本とも新しいものと交換し、充電式電池は充電する。</li> <li>● キャプスタンやピンチローラーが汚れている。→ クリーニングする。</li></ul>   |
| 再生速度が速すぎたり遅すぎたりする。再生音がおかしい。             | <ul style="list-style-type: none"><li>● 標準／2 倍モードスイッチの位置が、録音時と違う位置にある。→ 反対側に切り換える。</li> <li>● スピードコントロールつまみが中央以外の位置にある。</li> <li>● 電池が消耗している。→2 本とも新しいものと交換し、充電式電池は充電する。</li></ul>  |
| 本体作動中にノイズ（カチカチ音）が入る。                    | <ul style="list-style-type: none"><li>● テープカウンターのリセットボタンが誤って押されている。→ もう一度しっかり押して「000」にする。</li></ul>   |
| 早送りや巻き戻しをして、テープが終わりまで巻き取られたあとにカタカタと音がる。 | <ul style="list-style-type: none"><li>● 停止状態になっていない。→■ 停止ボタンを押す。</li></ul>  |

## 主な仕様

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| トラック方式                      | コンパクトカセットモノラル   |
| スピーカー                       | 直径 36 mm  |
| テープ速度                       | 4.8 cm/s、2.4 cm/s のスピード切り換え（標準－2 倍モード切り換え）  |
| 周波数範囲（JEITA <sup>＊1</sup> ） | TYPE I（ノーマル）カセット <p>250 Hz ～ 6,300 Hz（標準／2 倍モードスイッチ「標準」時）</p> <p>マイク（ミニジャック／プラグインパワー対応）（1）</p> <p>最小入力レベル 0.2 mV</p> <p>インピーダンス 3 k Ω 以下のマイク用</p> <p>イヤホン（ミニジャック／モノラル）（1）</p> <p>負荷インピーダンス 8 Ω ～ 300 Ω のイヤホン用</p> |
| 入力端子                        |   |
| 出力端子                        |   |
| 実用最大出力（DC 時）250 mW（JEITA）   | 可変範囲  |
| スピードコントロール可変範囲              | 約＋30％～約－15％（標準／2 倍モードスイッチ「標準」時）   |
| 電源                          | DC 3 V、単 3 形乾電池またはニッケル水素充電電池 2 本使用  |
| 最大外形寸法                      | 約 86.7 mm × 114.4 mm × 35.4 mm（幅／高さ／奥行き）（JEITA）最大突起部含む  |
| 質量                          | 本体 約 160 g  |
|                             | TCM-410 ご使用時 約 234 g（ニッケル水素充電電池 NH-7WMAA 2 本、カセットテープ C-60HF を含む）  |
|                             | TCM-400 ご使用時 約 234 g（乾電池 R6P（SR）2 本、カセットテープ C-60HF を含む）   |
|                             | ソニーマンガン乾電池（単 3 形）R6P（SR）（2） <sup>＊2</sup> （お試し用 <sup>＊3</sup> ）   |
|                             | 充電式電池 NH-7WMAA、1.2 V、700 mAh、Ni-MH（2） <sup>＊4</sup>   |
|                             | 充電電池ケース <sup>＊4</sup>   |
|                             | 充電アダプター <sup>＊4</sup>   |
|                             | AC パワーアダプター <sup>＊4</sup>   |
|                             | 取扱説明書・保証書（1）  |
|                             | ソニーご相談窓口のご案内（1）   |

|           |  |
|-----------|--|
| 別売りアクセサリー | AC パワーアダプター AC-E30L（極性統一形プラグ・JEITA 規格）（TCM-400 用） <p>ニッケル水素充電電池 NH-WM2AA Ni-MH（TCM-410 用）</p> <p>エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-C10</p> <p>接続コード RK-G64</p> <p>ステレオイヤーレシーバー MDR-EX10LP など</p> |
|-----------|--|

<sup>＊1</sup> JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

<sup>＊2</sup> TCM-400 のみ付属しています。

<sup>＊3</sup> 付属のマンガン乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

<sup>＊4</sup> TCM-410 のみ付属しています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

### アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

## それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社ではカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

|  |   |
|--|---|
| <div>よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご覧ください。</div> <div><b>http://www.sony.jp/support/</b></div>  |   |
| <div><b>使い方相談窓口</b></div> <div>フリーダイヤル……………0120-333-020</div> <div>携帯電話・PHS 一部のIP電話…0466-31-2511</div>   | <div>左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に</div> <div><b>「304」＋＃</b></div> <div>を押してください。直接、担当窓口へおつながります。</div> |
| <div><b>修理相談窓口</b></div> <div>フリーダイヤル……………0120-222-330</div> <div>携帯電話・PHS 一部のIP電話…0466-31-2531</div> <div>※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。</div> <div><b>FAX（共通）0120-333-389</b></div> |   |